

事業名：AIを用いた養殖魚の自動給餌システムの開発

実施期間：令和4年4月～令和6年9月

実施内容

- ・ブリ類やサーモンでAIを用いた給餌を実現するため機器類やソフトウェアの改良と開発を実施
- ・食欲活性度判定に基づき給餌量を自動制御できる自動給餌システムやその支援装置等を開発
- ・実証試験によりAI給餌システムの有効性を確認

成果（抜粋）

給餌機の改良

- ・精密計量機構の開発
(計量精度1%以下を達成)
- ・給餌速度の向上
(50kg/min←従来から約5倍)
- ・餌詰まり防止機構の開発



開発した飼料容積計量ユニット

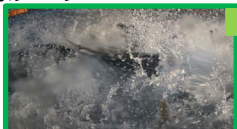
飼料残量検出機構の開発、飼料エア送給機構の開発

AIによる食欲判定機能の開発

取得画像データ



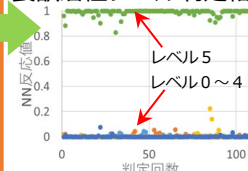
平常状態(非活性)



摂餌中(高活性)

AI判定

食欲活性レベル判定結果例



実証実験の結果、AIによる自動給餌システムにより飼料効率の改善が実現

